

Ⅲ. 購入商品のカラー傾向（'98.5～8月）

J 中学生

G.グロ N.ニッス

メガネ (98.7)

<マスカラ>
黒(98.6)→透明と迷ったが色つきの方が長く見える。
黒はTPOを選ばない

<ネイル>

メ入りライト青緑(98.7)
銀メ+赤い星型(98.7)

<リップ>

ブラウン+Gサモンビ°ンク(98.8)
ブラウンハ°ル(98.5)
サモンビ°ンク(98.5)
スモーキービ°ンクハ°ル(98.5)
スモーキーローズハ°ル(98.5)

ピンクBE(98.8)
BE(98.5)

<アイカラー>

淡青～濃青3色グレイ(98.6)
アクセント(青緑)とパール(パール黄)の2色セット(98.8)
淡パールピンク(98.5)

<アイブロー>

茶(98.7)
黒(98.7)

<マスカラ>

黒(98.6)
青(98.6)

<アイライナー>

グレー(98.7)

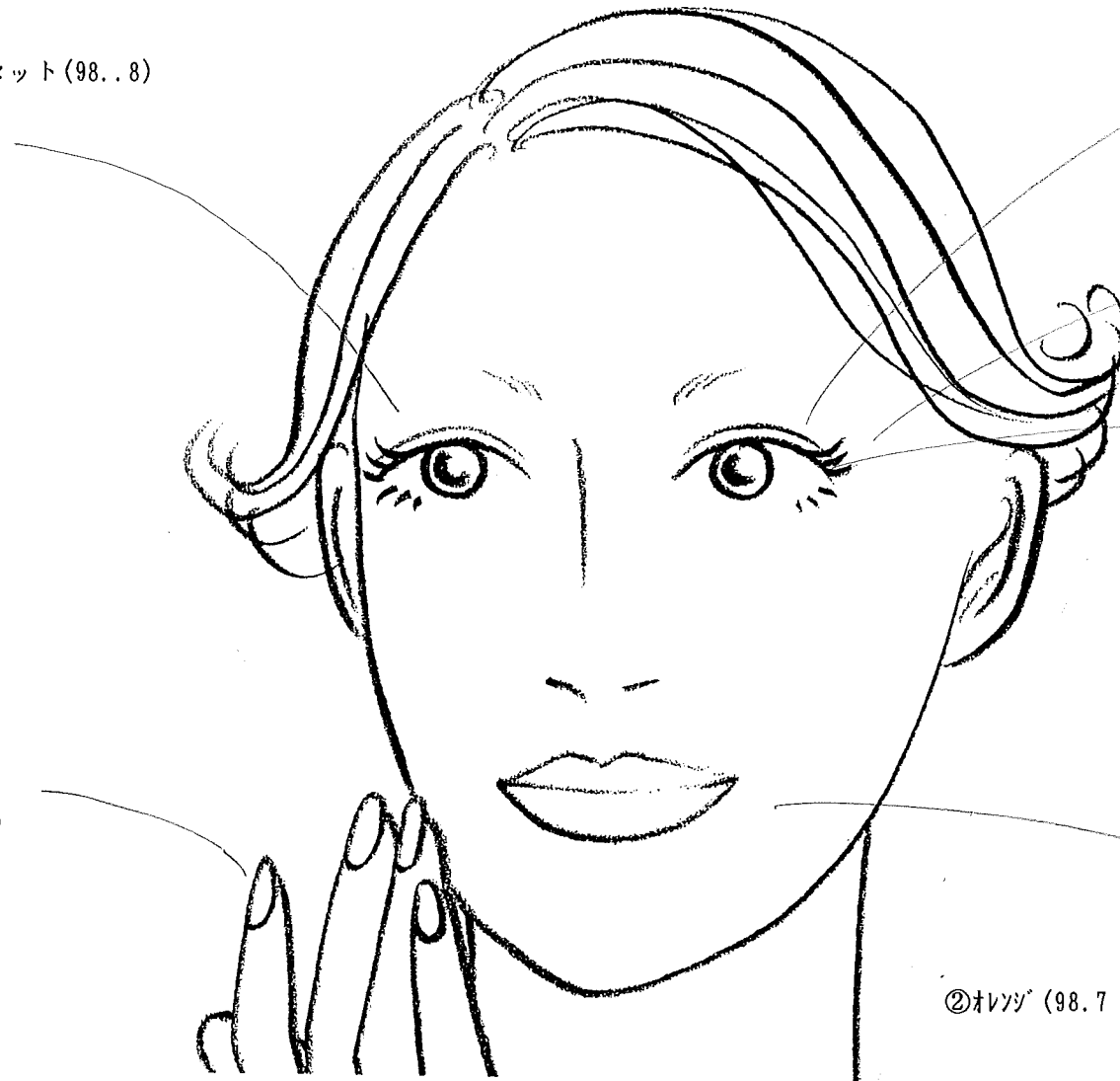
<ネイル>

③スモーキーブルー(98.6 98.7 98.8)
グレイBE(98.5)
パールグレイ(98.7)
スモーキーピンク(98.8)
パール紫(98.7)
パール深緑(98.6)
赤(98.8)

<リップ>

G透明(98.5)
Gパールグレイ(98.5)
Gオレンジ(98.5)

②オレンジ(98.7 98.8)



<アイカラー>

- 白(98.5)
- ②白パール(98.5 98.8)
- オリーブパール(98.8)
- 紫ゴールド/玉虫色(98.7)

<アイブロウ>

- ②ブラウン(98.7 98.7 98.8)

<マスカラ>

- ③黒(98.6 98.8 98.8)

<アイライナー>

- エメラルドグリーン(98.6)
- パールグレー(98.7)
- ゴールド(98.7)
- 白(98.6)

グレイッシュブラウン(98.5)

<フェイス>

白パールリキッド(98.5)

白パール(98.6)
 ピンクパール(98.7)

<ネイル>

淡パールビーズBE(98.6)

白(98.7)

<リップ>

サモンピンク(98.7)

G薄紫パール(98.7)

Gローズパール(98.8)

G銀パール(98.7)



IV. 購入商品の使い方（メイクテクニック）

J 中学生

マルチカラーのリキッドをチークとして
立体感を出す
実際にはマルチで使いこなすだけの
テクニックはまだない

リム入りを重ねてリムを濃くしたり
他のカラーの上に重ね塗りをする
※夏は白の上がよい

リムのせ方に工夫する
ex. 一粒だけのせる



マスカは何回も重ねづけし、乾いたらJ-Mでとかす

下まつげにもマスカ

リナーは濃い口紅、又は茶色の柔らかいアイブローを使う

グロスと口紅の使い方をいろいろ試してみる
透明のグロスを口紅の上に重ねるのがよい



アイブローは眉毛の薄いところをカバーする感じで使用

光の当たり方で輝きの異なるニュアンスカラーを全体にうすくのばし、キラキラ感を楽しむ

マスカラは目尻を濃くセリ通りに仕上げる

グレイのソフトウの濃い色をアイライナーとして使う

グレイのアイライナーなら太く入れてもキレイ
目元がハッキリする効果大

学校に行く時もリップの上からパール入りのグロスをつけるとお洒落な感じになる

リップのかわりにグロス。グロスだけですませたり、口紅に重ねたりして使う

引き続き、ネイルアートが流行

ホ-ル全体に白や白パ-ルのツヤドリ、又は肌馴染みのよいオレンジパ-ルやゴ-ルド系をつけ、カラーをのせる。下まぶたにもつける
そのまま、アイラインをきわだたせることもOK
白のツヤドリは濃色のツヤドリが“ハ-スル”に変身
夏はラメ入りの方が活躍する

暗目のニュ-アンスカラーは、目のきわに入れると落ち着く

ファンデ-の前に目の前に白パ-ルをつけるが
ファンデ-との馴染みが今ひとつ

白パ-ルのパウダ-（アイカラー）はいろいろ使えて重宝
ex. 眉下のハイライト □として
チークハイライト

チークは、ほほ骨に入れてぼかしていく

透明感のあるネイルは、違うネイルの上に重ねて
変色のニュ-アンスを楽しむ

白のブ-ル-マニキュアはネイルアートには欠かせない色

まつ毛に対しブラシを縦にして使う

眉頭は薄くふわっと眉尻は細くシャ-ブに仕上げる

黒のライナーの上に、カラーアイラインをひく
アイカラーはベ-シックな茶か、カラーアイラインと同系色

アクセントに斜めカラーライン

クレヨンタイプのマチパ-パ-スは、目の下のツヤドリとして
又、リップのハイライトとしても使用

同系色濃淡のパ-ツルはアイカラー、ハイライト、アイライナーと使えて
便利。但し、濃すぎるカラーは応用がききにくい
（淡いカラーは応用しやすい）

グロスには、パ-ル感などが強いと季節によって使いにくい
失敗したグロスは透明グロスをプラスして薄める感覚

ラメ入りグロスはそれだけつけてもOK。重ねるのであればパ-ジ-
がオススメ。（ラメがきついほどよい）

明るい色のびのびのよい口紅はラインを描かず、自然な感じでぼかしてつける

